

休校中の学習課題の変遷



<p>3月2日～の休校に向けて</p>	<p>安倍首相のあの発言から、休校は始まりました。学校現場は驚き、とにかく2月28日に慌てて準備しました。復習がメインでした。</p>
<p>春休みまで休校延長</p>	<p>途中で課題を配りました。その学年の未習が残っています。予習的に進められるよう工夫を始めました。通知表は、これまで学習したところまでで評価を出さざるを得ませんでした。</p>
<p>春休みの先生たち</p>	<p>前学年の未習事項はどの単元のどの部分か詳細に調べ、学級間格差がないよう、新学期どのように未習事項の授業をするか準備しました。大規模校の強みを生かして教科担任制の考えを取り入れました。</p>
<p>4月15日～5月6日休校</p>	<p>前学年の未習事項を必死でやったものの、新しい学習はほとんどできないまま、休校の始まり。学年に依って例えば新出漢字は、「この手本を見て、こうやってやるんだよ。」等、説明し、プリントやドリルを持たせました。生活リズムが乱れないように、保健室から「お休み中の健康チェック表（画用紙に印刷）を出しました。途中、追加の課題をポストインしました。運動不足になっているだろうと、菊西っ子チャレンジカードを全学年に配付しました。（現在HPに菊西学習動画アップ中）提出を義務づけることによって、子どもたちもやるのではないかと考えました。</p>
<p>5月末まで休校延長</p>	<p>いよいよ教科書を保護者の皆さんの協力を得ながら、Webの力を借りながら、未習事項にも取り組んでいかねば、間に合わなくなる！そんな時期に突入しました。特に栽培関係（1年アサガオ・2年ミニトマト・3年ヒマワリとハウセンカ・4年ひょうたん）は、持ち帰りもらい、家で育てて観察してもらわねば、できなくなります。「習っていないところでも、単元によっては、教科書と先生が作ったシート（トライシート）と時々Webの力を借りて、進められるところは進めてもらおう。そして赤ペンを入れて返し、足りないところは登校再開してから授業で補充しよう」と、各学年で工夫をした課題を作りました。</p>



学習課題の綴じ合わせ中



←トライシート

ヒマワリとハウセンカ種とポット！



5月11日(月)5月12日(火)

全校を4地区に分け、地区別に前の課題の提出と新しい課題の受取をお願いしています。方法についてはメールに添付した別途資料をご覧ください。

配付物の中身は全学年共通のものとして、文科省から届いたマスク、学年部の先生たちの顔写真入りメッセージ（子どもたちも私たちの顔、忘れてるかも・・・と実は不安。）2週間分のマイ時間割、各学習サイトの紹介、キャリアパスポートの1枚目（6年生は学校で既に学校で書いたとのこと）道徳の資料と感想シートです。トライシートAとかトライシート大などと示してあるプリントは、自分で学習を進めるための先生たち手作りワークシートです。

保護者の皆さん、是非、教科書とこのトライシートを並べて、子どもさんの学習に付き合ってください。本来は、私たちがすべきことですが、保護者の皆さんにお願いするしかありません。

市町村によっては、遠隔授業がなされているところもあります。菊陽町でも全児童用のタブレット導入について、計画を立てていますが、まだ間に合いません。まずネット環境のアンケートを取らせていただき、少しでもWeb学習の形態がとれるよう準備を進めています。学校のHPにも先生たち出演の動画（リコーダー演奏や英語のあいさつのしかた等）を順次アップしていきます。今後も増やしていきます。子どもたちのために、どうぞよろしくお願い致します。



菊陽西小だより

5月.....

NO.5
R 2. 5. 8
菊陽町立
菊陽西小学校
文責：草場ルミ子

読書の声

私たちは全員、通常通りに学校で授業ができることを願っています。分散登校も感染防止のために、まだしない方がよいだろうとの判断になりました。課題については、保護者の皆さんに「提出・配付」のために来ていただくのではなく、担任によるポストインも考えました。しかし、担任による家庭訪問では、新しい課題は配付できても、子どもたちが訪問する時刻を予め知らせ、玄関先に出しておいてもらい、それを受け取ることも考えました。「次々に課題を配付するだけではよくない。自分たちがチェックして、アドバイスの赤ペンを入れて返さないと、学力保障はまずまずできない。自分たちが落ち込んでいるところはどこか分析して、授業再開の際にいかさなければならぬ。」との先生たちの意見。アナログではありますが、現状では、それが一番よい方法であると考えました。